

(別紙2)

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校

学校番号 49

I 自己評価

1 学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。
----------	---

2 評価する領域・分野	◇保健厚生・安全管理・防災	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>(1) 保健衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> *保健室利用 <ul style="list-style-type: none"> ・心の問題をかかえる教育相談的対応を必要とする生徒の利用が多い。 *運動器検診の実施（1年生） <ul style="list-style-type: none"> ・関節の柔軟性と姿勢（肩や背中の高さに左右差がある）に問題のある生徒が多い。 *食物アレルギー研修の実施（6月職員） *救命救急講習の実施（9月職員、5月生徒） <p>(2) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> *安全点検の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・年3回（施設設備の不備や危険箇所の点検・確認） <p>(3) 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> *非常変災時における安全確認の予行及び実践 <ul style="list-style-type: none"> ・6月初旬に帰宅安全確認の予行を実施。保護者の理解、協力を得ることができた。 ※10月の台風による大雨警報発令時に実践 *命を守る訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・年3回（緊急地震速報の利用及び予告なし訓練） ※5月、9月、11月に実施 *10月に自宅周辺のハザードマップを作成（1年生） *防災リーダー（生徒3名）の選出、自治体主催の講座への参加（生徒6名） <p>(4) 環境美化</p> <ul style="list-style-type: none"> *学習環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・全員清掃と定期的な大掃除、長期休業中の掃除分担 ・教室のワックスがけの実施（9月） ・通学路清掃（MSリーダーズ・部活動・職員） 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇自ら進んで健康で安全な生活を送る態度を育成する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<p>(1) 保健厚生部</p> <p>(2) 組織体制（学校・保護者・学校医・恵那市・消防署との連携）</p> <p>(3) 生徒保健委員会</p>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) ・保健だよりの充実及び保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒保健委員会活動による自発的な啓発活動 ・食物アレルギー研修（職員）の実施 ・救命救急講習（職員・生徒）の実施 <p>(2) ・安全点検の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医、消防署との連携と緊急時対応マニュアルの整備と災害・事故発生等の緊急時対応の流れの確認 ・非常変災時における対応マニュアルの整備と安全確認の予行 ・命を守る訓練の充実 ・ハザードマップ作成（生徒） ・防災リーダーの選出及び活動（生徒） <p>(3) ・全員掃除の継続及び清掃方法の指導</p>	<p>(1) 保健だよりの発行及び健康相談</p> <p>(2) 生徒委員会活動での反省</p> <p>(3) 食物アレルギー研修（職員）の実施</p> <p>(4) 救命救急講習（職員・生徒）の実施</p> <p>(5) 学校医・消防署などの外部指導及び意見</p> <p>(6) 防災計画の見直しと非常変災時の安全確認の予行の実施</p> <p>(7) 命を守る訓練の計画・実施</p> <p>(8) 安全点検確認及び校内美化状況確認</p> <p>(9) ハザードマップ作成（生徒）</p> <p>(10) 防災リーダーによる生徒主体の活動、自治体主催の講座への参加及び防災士の資格取得</p>	

8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 保健だよりの定期的な発行 (2) 生徒保健委員会活動（文化祭展示参加・体育祭救護活動・水質検査や石鹼補充等の環境衛生活動・熱中症予防対策等の健康啓発活動の継続、教室換気期間を新たに設け評価及び啓発） (3) 食物アレルギー研修（職員）の実施 (4) 救命救急講習（職員・生徒）の実施 (5) 年3回の安全点検の実施 (6) 年1回の非常変災時における安全確認の予行の実施、10月の大雨警報発令時に実践 (7) 年3回の命を守る訓練の実施 (8) ハザードマップの作成（生徒） (9) 防災リーダーの選出及び活動（生徒）	(1) 生徒の健康状態（保健室利用状況） (2) 生徒委員会活動の成果 (3) アレルギー対応における措置 (4) 学校医、消防署の指導 (5) 安全点検調査結果の活用 (6) 非常変災時における安全確認の予行の実践 (7) 命を守る訓練の実践 (8) ハザードマップの作成 (9) 防災リーダー（生徒）の選出及び生徒主体の活動	A (B) C D (A) B C D (A) B C D (A) B C D A (B) C D (A) B C D A (B) C D
11 成果・課題	<p>○保健委員会の活動が計画的・継続的に行われている。各イベント時の活動をはじめ環境衛生活動や健康啓発活動に意欲的に取り組むことができた。</p> <p>○職員を対象に食物アレルギー研修や救命救急研修を実施したことで、アレルギーや救急を要する緊急時の対応における職員のスキルアップを図ることができた。</p> <p>○校内安全点検や命を守る訓練をさらに充実させることで、快適で安全な学習環境の確保と防災意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○昨年度に引き続き非常変災時における安全確認の予行を実施したことで、安全確認の流れを周知することができた。10月の非常変災時安全確認の実践を通して、生徒・保護者におおむね浸透した。</p> <p>○ハザードマップの作成を通して、自宅や学校周辺・通学路の災害時の危険区域を把握することができ、生徒の危機意識と防災力の向上につながった。</p> <p>○学校や地域の防災力向上に貢献する役割を担う高校生防災リーダーの育成を目指し、校内で防災リーダーを選出し、生徒主体での防災意識の向上を目標に活動してきた。命を守る訓練時の防災リーダーによる防災講習会等、新たな試みに着手した。今後も様々な試みを通して生徒の主体性を養い、危機意識と防災力のさらなる向上を図りたい。</p>	総合評価 A (B) C D
12 来年度に向けての改善方策案 <ul style="list-style-type: none"> ・自己健康管理能力の養成（健康教育及び保健委員会活動の充実） ・快適な学習環境の整備（校舎の新設・修繕や体育館の改修により整った施設を清潔に保つため、職員・生徒の美化意識のさらなる高揚を図る。） ・災害や事故発生等、緊急時における対応の流れの全職員の共通理解と協力（緊急時対応マニュアルの確認と救急体制の周知の徹底） ・非常変災時における安全確認の流れを周知徹底（非常変災時における対応マニュアルの整備と確認の徹底） ・学校や地域の防災力向上に貢献できる防災リーダーの育成（生徒主体による命を守る訓練の計画と実践） 		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年1月24日

【意見・要望・評価等】

- ・命を守る訓練は年間3回実施しているが今後も継続してほしい。
- ・生徒を対象としたハザードマップ作成は大変有益であったと思う。今後も継続して取り組んでほしい。
- ・心の問題を抱える生徒、不登校生徒のメンタルヘルスの丁寧な対応は大事であり、大切にしてほしい。
- ・職員を対象とした食物アレルギー研修は、職員の知見を深めるよい機会になっている。今後も職員の自己研鑽の場として、このような研修の機会を積極的に設けてほしい。